

(一財)日本ヘルスケア協会から

発行：日本ヘルスケア協会 事務局

今回は7月13日の前回定時記者会見以降の動きについてご報告いたします。

1. 「WEB報告2021年J A H I 活動発表会」が開催されました

コロナ禍でWEB開催となったJ A H I 活動発表会は、With コロナ時代に向け、各部会・研究会がこの1年間総力を挙げて活動した成果を、当事者がオムニバスで発表する形で、9月6日(月)にスタートしました。

東邦大学館田一博教授(厚労省アドバイザーリーボード構成員)による基調講演「新型コロナウイルス感染症との対峙～感染予防と経済活動を両立させ、地域医療を守る」をはじめ、在宅療養者とその介護者の感染予防で注目される「おうちマップ」、感染症の流行を2週間前に予報する画期的な仕組みである「インフルエンザ予報」、野菜売場のPOP表示を一変させるための実証実験である「サンドボックス実証」等、重要な報告を含む18本のコンテンツと大会長・副大会長による開会・閉会の挨拶で構成されています。

お蔭様で9月12日(日)までの期間内にも多数の参加ご視聴を頂きましたが、WEB開催にしては期間が短かすぎ、都合が付かないうちに終了となってしまったとの問合せを多数頂いたため、期間を9月30日(木)まで延長し、パスワードの発行をすることとしました。

2. 「第1回J A H I 選考委員会」が開催されました

当協会はただいま公益財団法人化の手続きを進めていますが、公益化が成立した際の主要な事業は「助成事業」となり、公衆衛生の向上及び高齢者福祉に専門性の高い医療予防関係者の教育、研究に寄与するものを公募または推薦等の手段により募り、これらに対する助成を行うことが重要な業務となります。そして、その選考に当たり、公平・公正・透明な作業を担保するために、各領域における数名の学識経験者等からなる選考委員会を設置する必要があります。この度、次の皆様のご承諾を得て、第1回の委員会を開催いたしました。(9月8日(水)午後)

内部委員4名：今西信幸(医学博士、J A H I 会長)、上原征彦(公益財団法人流通経済研究所理事・名誉会長、J A H I 副会長)、池野隆光(ウエルシアホールディングス(株)会長、J A H I 副会長)、太田伸(医学博士、前・東京薬科大学副学長、J A H I 理事)、外部委員6名：川口美喜子(医学博士、大妻女子大学家政学部教授)、玄場公規(博士<学術>、法政大学大学院教授)、又平芳春(博士<農学>、三生医薬(株)専務取締役)、丹藤匠(博士<工学>、(株)日立製作所研究開発G、2021年10月以降就任)、新井範子(博士<経営学>、上智大学経済学部教授)、吉田智(博士<薬学>、横浜市立大学医学部講師)(以上、順不同、敬称略)

当日は、選考委員会設置の経緯の説明の後、選考委員会の概要、選考委員会規約案、選考基準案についての審議が行われました。

3. 「お米で健康推進部会」が発足しました

「お米の健康効果に関する研究を推進し、より健康効果を高める食べ方を普及することにより、国民の健康レベル向上と健康寿命の延伸に貢献すること」を目的とする新しい部会が8月30日、日本ヘルスケア産業協議会・池野隆光会長の承認を得て、設置されました。

お米摂取に関する否定的な情報があまりにも一般に浸透しており、一方ではお米の健康効果の研究をする専門家が少ないため情報の発信が少なく、結果としてお米の消費量が激減しているのを憂う専門家達がエビデンスの収集や研究者への働き掛け、業界団体・企業等との連携を具体的な活動目標として部会を設立したものです。部会長には、(一社)日本健康食育協会の柏原ゆきよ代表理事が就任されました。

4. その他

- (1) 「野菜で健康推進部会」が8月末日を以ってサンドボックス実証実験期間を終了し、次のステップに入りました。
- (2) 昭和女子大学への寄附講座が3年目を迎え、10月7日から来年1月27日まで全15回に渡って展開されます。
- (3) 今西会長対談は医農科学、寺パン、日本ソバ・うどんセンター協会の順で進捗しています。